

2016年(平成28年)3月期 第3四半期
決算の概要

2016年2月2日

長瀬産業株式会社

目次

連結損益計算書	2
地域(国内・海外)別売上高	3
セグメント別 売上高2期比較	4
セグメント別 営業利益2期比較	5
連結貸借対照表	6

- 売上高：生活関連や加工材料セグメントの売上が増加したが、電子セグメントが低調に推移し、減収
- 営業利益：前第3四半期連結累計期間に台湾子会社において貸倒引当金を計上した影響等により増益
- 経常利益：持分法投資損益および為替差損益の悪化により減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：税金費用が増加したこと等により減益

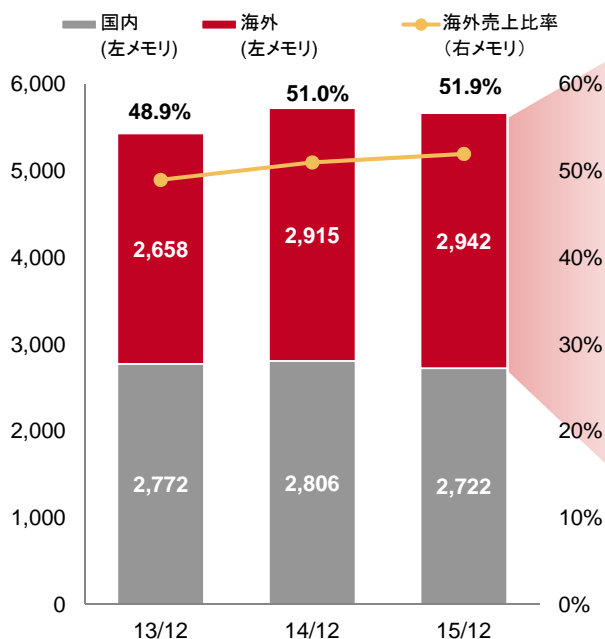
(単位:億円)

	14/12	15/12	増減額	前年同期比	公表見通し
売上高	5,721	5,665	△56	99%	8,230
売上総利益	688	698	+9	101%	973
<利益率>	12.0%	12.3%	+0.3%	—	11.8%
販売費及び一般管理費	546	549	+3	101%	778
営業利益	142	148	+5	104%	195
経常利益	163	153	△9	94%	206
親会社株主に帰属する四半期純利益	110	95	△15	86%	121
US\$レート(期中平均)	106.9	121.7	@14.8円安		@120

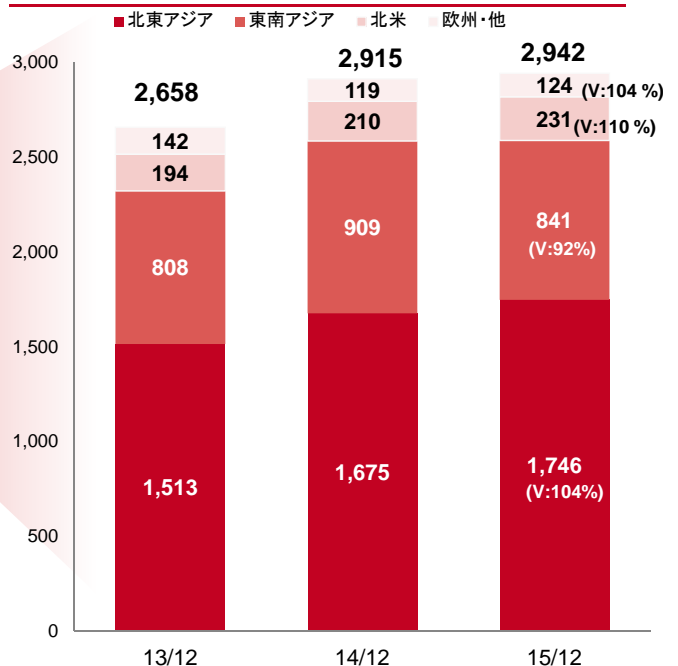
【為替変動による15/12期実績売上高および営業利益への影響額】
 売上高: +約291億円、営業利益: +約9億円

- 海外売上高比率が前連結会計年度に引き続き上昇(50%超)

国内・海外売上高(億円、%)



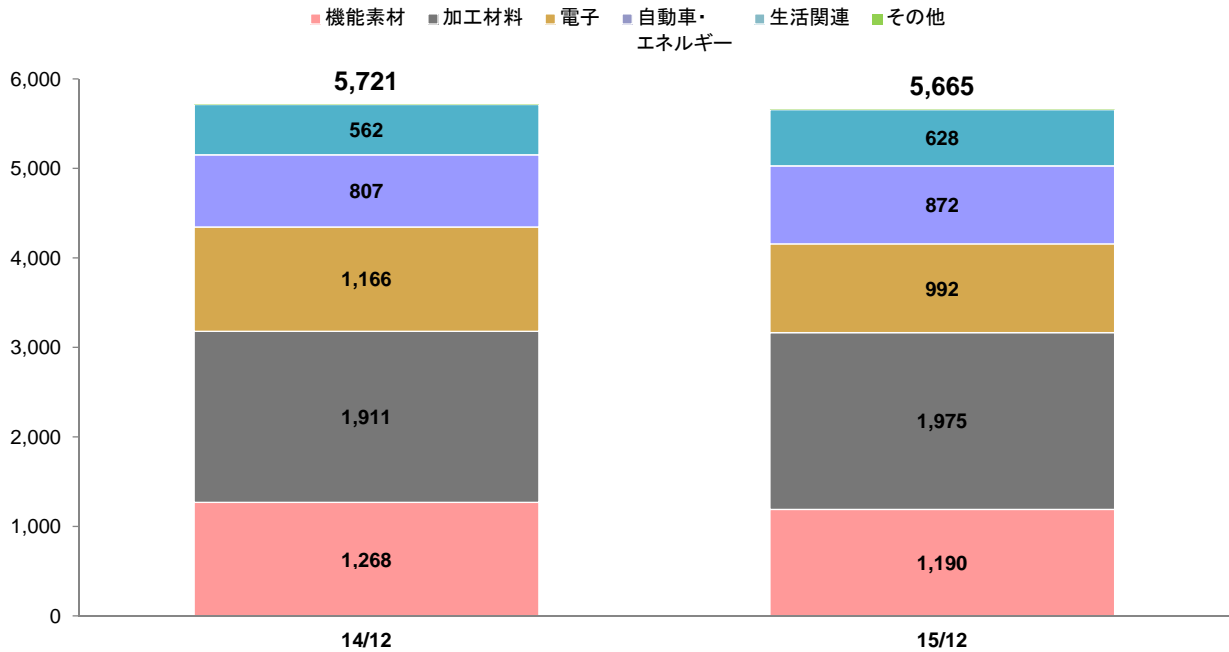
海外売上高の地域別内訳(億円)



※V:前年同期比

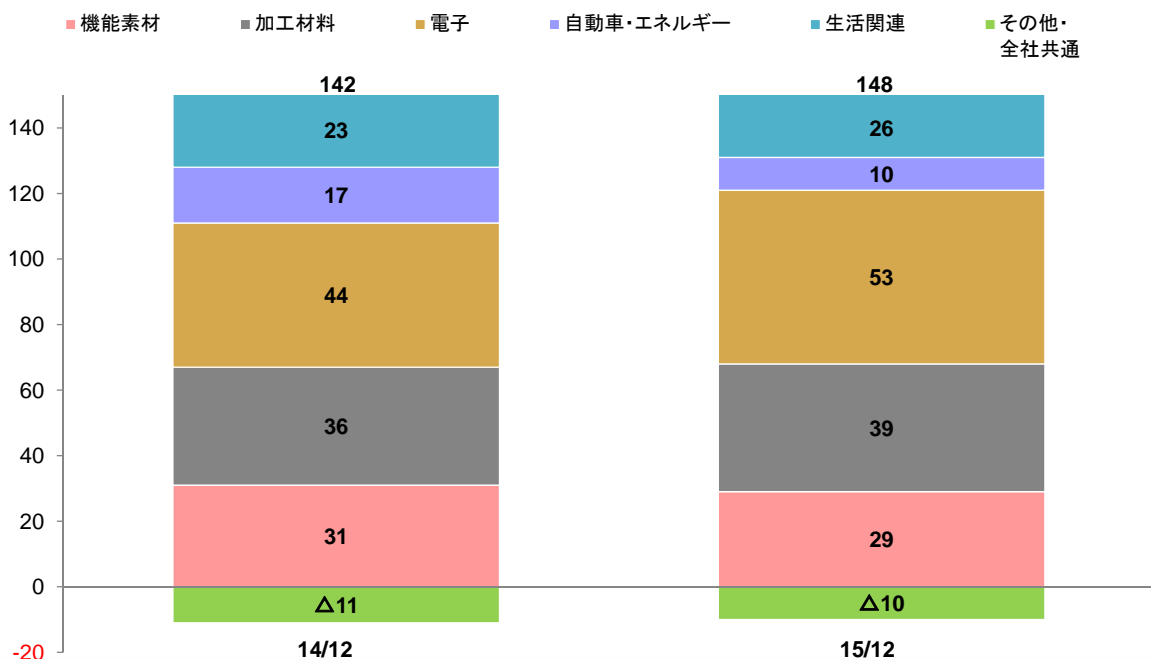
- 生活関連: 林原製品、スキンケア・トイレタリー業界向け原料等の売上が増加
- 機能素材: 塗料原料およびウレタン原料等の売上が減少
- 電子: 中国スマートフォン市場の成長鈍化の影響等により液晶関連部材の売上が減少

セグメント別 売上高(億円)



- 電子: 前第3四半期連結累計期間に台湾子会社にて貸倒引当金を計上した影響等から増益
- 加工材料: 売上の増加および一部製造子会社が好調に推移したこと等により増益
- 自動車・エネルギー: 国内新規ビジネス立ち上げ時の費用負担発生等により減益

セグメント別 営業利益(億円)



■ 自己資本比率が0.2ポイント減少し51.3%へ(前期末時点51.5%)

資産			負債及び純資産				
	15/03	15/12	増減額		15/03	15/12	増減額
流動資産	3,298	3,399	+100	流動負債	1,764	1,718	△46
現金・預金	405	449	+43	支払手形・買掛金	1,057	1,119	+62
受取手形・売掛金	2,082	2,186	+104	短期借入金 (1年内返済予定長期借入金含む)	377	391	+14
棚卸資産	690	640	△49	1年内償還予定の社債	100	—	△100
その他	120	122	+2	その他	229	206	△22
固定資産	2,166	2,175	+8	固定負債	826	941	+115
有形固定資産	667	664	△3	長期借入金	303	309	+6
無形固定資産	488	467	△21	社債	200	300	+100
投資・その他の資産合計	1,010	1,043	+33	退職給付に係る負債	108	109	+1
投資有価証券	926	965	+39	その他(繰延税金負債等)	214	221	+7
その他	84	78	△5	負債合計	2,590	2,659	+69
資産合計	5,465	5,574	+109	純資産	2,875	2,915	+40
				株主資本	2,263	2,319	+56
				その他の包括利益累計額	550	539	△10
				その他有価証券評価差額金	449	464	+15
				為替換算調整勘定	94	73	△21
				その他	6	1	△4
				非支配株主持分	61	55	△5
				負債・純資産	5,465	5,574	+109

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

本資料で記載されている業績予想および将来予測は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。